

教育参事室より



教育参事 日切 寛

教職員のみなさんは様々な機会をとらえ、自らの資質の向上に努めていますが、学校全

体の教育力向上を一層図るためにも、教職員相互の連携をさらに深めて欲しいと思います。そのために、私は、教職員同士で自らの経験を語り合うことが肝要であると考えます。

私自身、30数年前に、これまで大事にしてきた出来事がありました。それは、旅行先で、若いバスガイドさんが汗を流しながら懸命に名所旧跡について説明してくれるのですが、(熱意は十分過ぎるほど伝わるけれど)内容がよく分からず、車中、一緒にいた先輩教員が時折「子どもへの指導も同じかな。」と呟いたことです。「一生懸命している」ことのみをもって言い訳としないで、子ども理解を基とした指導方法の工夫改善に努めることが重要だと、後日、勤務校で年齢の近い教員と話し合ったものでした。先輩教員が意図的に私に投げかけたものかどうかは、今となっては分かりませんが、私には極めて意味ある呟きでした。

昨今、教職員一人ひとりの歩んできた経験を、教職員相互に語り合うことが少なくなっているようにも思います。これしきのことをと思わずに率直に語り合い、経験を共有することを、家庭・地域社会からの学校への期待に応えるためにも大切にしたいものです。

郷土文化教育推進者養成講座の実施について

近年、県内各地で実施された埋蔵文化財発掘調査によって、郷土の歴史を書きかえさせるほどの貴重な発見が相次いでいます。国内最大級の庭園跡が見つかった藍住町の「勝瑞城館跡」や、全国的なニュースとなった徳島市観音寺遺跡の「勘籍木簡」などはその代表例です。

「郷土文化教育推進者養成講座」は、こうした県内で発掘された埋蔵文化財を、学校現場で「生きた教材」として活用できる実践力の養成を目的としています。具体的な講座の内容としては、埋蔵文化財を用いた活用実習や新しい教材の開発など、授業実践に即応した講座を5カ年継続で展開していきます。

■実施日(年間5回)

終日研修 7月26日(水)、8月8日(火)、8月25日(金)

半日(午後)研修 10月13日(金)、11月24日(金)

■申し込み期限

7月7日(金)

■場 所

徳島県立埋蔵文化財総合センター

■問い合わせ

徳島県教育委員会文化財課

088-621-3164



平成19年度使用教科用図書等の見本の展示について

文部科学省検定済み教科書等を次の11会場で展示します。

■展示日 6月16日(金)から6月29日(木)まで

	教科書センター	設 置 場 所	開館時間	休館日
1	中央	県立総合教育センター 平日:2階教科書センター 土日:1階マナビィセンター	9時~17時	
2	徳島	徳島市内町小学校	9時~17時	土・日・祝
3	小松島	小松島市教育委員会	9時~17時	土・日・祝
4	鳴門	鳴門市教育研究所	9時~17時	土・日・祝
5	阿南	阿南市立那賀川図書館	10時~18時	火
6	那賀	那賀町驚敷郷土館	9時~17時	祝日
7	海部	牟岐町立図書館	10時~18時	月第3木曜日・祝
8	吉野川	吉野川市立川島図書館	10時~18時	水・祝
9	阿波	阿波市教育委員会	9時~17時	土・日・祝
10	美馬	美馬市協町小学校	9時~17時	土・日・祝
11	三好	三好市池田小学校	9時~17時	土・日・祝

■問い合わせ先 県教育委員会学校政策課学力向上担当
(TEL:088-621-3136)



教科書検定結果の公開について

平成19年度から使用される高等学校の主として低学年用の教科用図書の検定にかかる資料の公開を行います。

■公開期間 6月13日(火)から6月23日(金)まで
(月曜日を除く)

■場 所 徳島県立総合教育センター
1階マナビィセンター

とくしまの教育



Education of Tokushima

Contents

教育長からのメッセージ	1
事務局組織の改正について	2
新任教員の辞令交付式	2
子育てと仕事を両立させる支援策について	3
学校紹介・城西高校神山分校	4
学校紹介・県立川島中学校	5
学校防災管理マニュアル等の活用について	6
人権教育の指導方法等の在り方について	7
教育参事室より	8
郷土文化教育推進者養成講座について	8
平成19年度使用教科用図書等の見本の展示について	8

地域の『個性』と『自立』に根ざした『オンリーワン教育』を推進します。

はじめに

みなさん、こんにちは。教育長の佐藤勉です。

昨年度より、「全県的な高校再編の検討」・「学力向上対策」・「防災教育の充実」などの教育改革に取り組んでまいりました。その一環として、この4月には2校目となる併設型中高一貫校である県立川島中学校を開校したところであります。本年度は、昨年度の取り組みを一層進め『夢と希望と誇りが持てる学校づくり』等の教育改革に邁進したいと思います。



徳島県教育長 佐藤 勉

オンリーワン教育の推進

県教育委員会では、教育の大きな変革期にあたり、新たな時代にふさわしい教育目標として、『地域の個性と自立に根ざしたオンリーワン教育の推進』を掲げました。

今、学校では、「学校の安全」・「学力向上」などの重要な課題を抱えています。これらを学校だけで解決していく問題として捉えるのではなく、学校・保護者・地域の“和”の中で、子どもたちを育てていくという視点に立つことが大切です。そのためには、個人情報保護に留意しつつ学校における取り組みの情報開示に努めるとともに、保護者や地域からの意見や協力が得られるような人間的なつながりを育むことが重要です。そうすることにより、「地域ならではの教育活動」が生まれ期待にこたえられる大きな成果をあげることができるのです。

子どもたちの笑顔を喜びとして

言うまでもなく、学校教育は、教職員の識見と指導力に負うところが大きいです。教職員一人ひとりが、研鑽を積み教育力を向上させ、教育の専門家としての確かな力量を身につけることは、自らの自信とやる気を起こさせるだけでなく、子どもたちの笑顔はもちろんのこと、保護者や地域からの揺るぎない信頼の確立と本県教育の発展を促すものと確信しています。

すべての教職員が、教育のプロとして力を発揮することにより、全国から「徳島こそ」といわれるような、「オンリーワン教育」を実現できればと考えています。



平成18年度教育委員会事務局組織の改正について

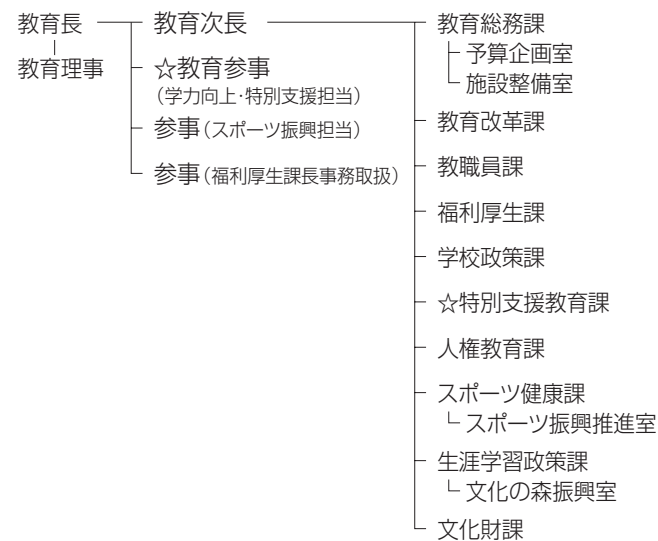
少子高齢化の急激な進展や社会経済構造の変革に対応するため、教育の分野においても時代の変化に的確に対応した教育改革を推進していく必要があります。

本県においては、これまでも、「総合教育センターの設置」や「事務局の政策調整機能の強化」など時代の要請に応じた組織改正を行ってきたところでありますが、平成18年度においては、次の3つの視点に立ち、事務局組織の改正を行いました。

事務局組織の主な改正点

- (1) 学力向上に向けての体制整備
幼稚園から高等学校に至るまでのそれぞれの段階において、学力向上につながる実践研究の推進を図るため、「教育参事(学力向上・特別支援担当)」を設置しました。
- (2) 特別支援教育推進体制の整備
特別支援教育をめぐる諸課題に、迅速・的確に対応するため、前述の「教育参事(学力向上・特別支援担当)」に加え、「特別支援教育課」を設置しました。
- (3) 効率的・効果的な組織体制への改革
図書館、博物館、美術館等文化の森5館の総務機能を「二十一世紀館」に集約化し、人員の弾力的運用や共通事務の効率化により、人員のスリム化を図りました。
また、県内に2カ所あった「少年自然の家」を統合しました。

平成18年度事務局組織(☆…新設)



新任教員の辞令交付式



がんばれ!新任先生

4月3日(月)県庁講堂において、平成18年度新任教職員辞令交付式が行われ、小・中学校40名、県立学校53名の新任教職員に佐藤教育長より辞令が交付されました。

新任教職員を代表して、富澤直子さん(藍住中)が辞令書を受け取り、佐坂栄次郎さん(徳島北高)が宣誓を行いました。佐藤教育長からは、「初心を忘れず、自己研鑽に努めるとともに、心が通い合い、相互の人間性を大切にする授業を展開し、すべての児童生徒が自ら学び自ら考える教育を実践してほしい」と激励の言葉が贈られました。

学校を取り巻く状況が大きく変化する中、新任教職員の皆さんには、フレッシュな情熱と豊かな感性を存分に発揮して、本年度の教育目標である「地域の『個性』と『自立』に根ざした『オンリーワン教育』の推進」に向け、先輩教員とともに、生き生きとした学校づくりに邁進されるよう期待しています。



「人権教育の指導方法等の在り方について [第二次とりまとめ]」について

文部科学省では平成18年1月、「人権教育の指導方法等の在り方について[第二次とりまとめ]」(以下、[第二次とりまとめ]という)を公表しました。学校(園)にも[第二次とりまとめ]の冊子が届いていると思います。

[第二次とりまとめ]では、人権感覚を身につけることの重要性が随所に述べられています。[第二次とりまとめ]自体が人権感覚の育成に焦点を当てて作成されたと言っても過言ではありません。そして、「人権感覚が人権に関する知的認識とも結びついて、問題状況を変えようとする人権意識または意欲や態度になり、自分の人権とともに周りの人の人権を守るような実践行動に連なる」と、“人権感覚→人権意識、意欲、態度→実践行動”を関連づけてとらえようとしています。

また、人権尊重の理念を、人権感覚の側面に焦点を当てて「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」とし、人権教育の目標を、「一人ひとりの児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、[自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること]ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすること」としています。

人権教育を推進するにあたっては、人権尊重の基盤に、生命の尊厳を位置付けるとともに、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間のそれぞれの特質に応じ、教育活動全体を通じて推進することによりその取組を確かなものにしていかなければなりません。そして、様々な教育活動の中で人権が損なわれるような状況がないかどうかを見直し、幼児児童生徒がそれぞれ人格を持った一人の人間として尊重されるよう、一人ひとりを大切にする教育方針のもとで、これにふさわしい学習環境をつくっていくことが大切です。

こうしたことも[第二次とりまとめ]の随所に述べられていますのでしっかりお読みいただき、今後の具体実践に向けた活用を図ってください。



文部科学省[第二次とりまとめ]PDFファイル:URL

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/024/report/06012408/001.pdf



城西高校神山分校

今春、神山分校では3年前に入学した生徒31名全員がそろって、進学・就職とそれぞれの進路目標を達成し、学校生活の思い出を胸に卒業しました。そして、今年度新たに30名の入学生を迎え、その感動を保護者とともに記念写真に残し、平成18年度がスタートしました。

創立58周年を迎えた本校は、「小さくてもキラリと光る学校づくり」を合い言葉に、生徒一人ひとりの個性や可能性を伸ばし、楽しく元気な学校生活が送れるよう努めています。

造園土木科、生活科ともに県下唯一の学科で、環境や緑を守る農業のスペシャリストを養成しています。生徒全員が、3級技能士の資格取得を一つの目標に専門的な知識や技能を磨いています。



造園技能検定



フラワー装飾講習会

学習内容と関わりが深い国家資格を取得することは、単に知識や技能を高めるだけでなく、自らの学びに自信と誇りを実感し、望ましい職業観の育成につながります。そして、造園や園芸デザインに関する知識や技術を生かして就職する生徒や上級資格取得という目的を持って進学する生徒が次々と育っています。



感動・出会い・期待 ―平成18年度入学生・保護者・職員が決意新たに―

「小さくてもキラリと光る学校づくり」を合い言葉に ―Challenge together―

また、アメニティ豊かな環境の創造にも積極的に取り組んでいます。よく整備された美しい校舎、学校版環境ISOの取得、県内唯一の全面芝生のグラウンドなどは神山分校の財産です。生徒による手づくりの芝生グラウンドはJリーグの公式ホームページでも公開されています。

(<http://www.j-league.or.jp/aboutj/rinen/ouen.html>)



芝生グラウンドでの体育祭

さらに、絶滅が危惧されている山野草をバイオ技術で増殖させ、自生地に復元する自然保護活動の支援も継続的にを行っています。これまでにジンリョウユリ(神山町)を始め、イヤギボウシ(東祖谷)、ダイサギソウ(日和佐)、ワタナベソウ(木屋平)の保護増殖を支援してきました。今後も地域社会に貢献し、地域に根ざした農業高校としての役割を担っていきたいと考えています。

自分の未来を発見する 「夢をはぐくむ」学校

本校は、県下公立2校目の併設型中高一貫教育校として4月10日に開校しました。

教育目標を「高き理想に生き未来を創造する人間の育成」とし、学力と個性を伸ばし、豊かな心と国際性を育てる中高一貫教育の実現を目指しています。



中学校新校舎

■高等学校の単位制を生かした中高一貫教育

生徒の能力・適性、興味・関心、進路の希望等に応じて、主体的に科目選択ができる高等学校の単位制の特性を生かし、生徒一人ひとりの学力と個性を伸ばし、夢の実現をめざします。そのため、教育課程を6年間見通して、2年ごとに基礎期、充実期、発展期に分け、「学力」と「こころ」の両面から、計画的、継続的な教育を展開します。



中高合同入学式

■特色ある中学校の学習プログラム

(1) 得意分野の強化と基礎学力の充実

「朝の学習」で、国語、数学、英語を重点的に実施し、各種検定の獲得を目指しています。また、定期テスト前の放課後や夏休みなどに、「質問タイム」を設け、生徒一人ひとりの学習をサポートします。

(2) 特色ある選択教科

○「国際理解」(1学年から)

英語の発展的内容や英会話を学習し、実践的なコミュニケーション能力を養います。

○「理数探究」(1学年から)

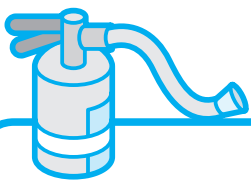
理科や数学の発展的内容を学習し、科学への興味や関心を育てます。

○「人文探究」(2学年から)

国語や社会の発展的内容を学習し、日本文化への理解や関心を深めます。



選択教科「国際理解」



学校防災管理マニュアル等の活用について

今世紀前半にも発生する可能性が高いといわれている南海・東南海地震では、甚大な被害が予測されています。そこで、この度、これまでの内容を再点検し、実態に沿った実効性のあるマニュアルとして『学校防災管理マニュアル』と『防災教育指導資料』を改訂しました。

◆学校防災管理マニュアル

学校における平常時の防災対策に加え、災害発生時の防災対策を練る上での基本的なマニュアルです。

災害発生時の対応を、在校時・登下校時・校外活動時等に分類し、それぞれの対応例等を記載してあります。本マニュアルを活用し、各学校の実情に応じた「防災計画の作成」や「防災体制の整備」を行ってください。

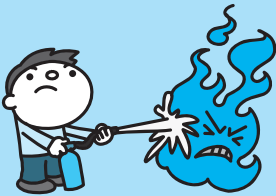
また、災害時の取組及び手順を示した小冊子を作成しました。手元に置いておくなど、災害発生時に活用できるようにしておいてください。



◆防災教育指導資料

学校において防災教育を教育活動全体にわたって進める際の資料です。

各校種別の発達段階に応じた防災教育の重点内容、授業の取組例、防災教育視聴覚教材等の新しい内容を掲載しました。各教科、特別活動、総合的な学習の時間の関連として積極的に活用し、災害発生時に状況を的確に判断し落ち着いて適切な行動ができる能力や態度の育成に努めてください。



◆防災教育副読本「地しんから身を守る」

小学3・4年生用に、南海・東南海地震の特徴や地震発生時の対応のしかたなどについて、副読本を作成し配布しましたので、防災学習に活用してください。



これらの冊子を活用し、日ごろから家庭や地域社会と密接な連携を図りながら、防災教育を進めてください。



「子育てと仕事を両立させる支援策について」

教育委員会では子育てと仕事を両立させるため次の支援策を推進しています。

1 休暇、休業による支援

(1)産前（休暇）

両立支援策	両立支援策の概要	期 間	男性	女性
産前休暇（有給）	8週間（多胎妊娠の場合にあつては14週間）以内に産前予定の女子職員に与えられる休暇	産前8週間（多胎妊娠の場合にあつては14週間）		○

(2)産前産後期間中（休暇）

配偶者の出産補助休暇（有給）	妻の出産に伴う入退院の付添い等を行う職員に与えられる休暇	分べん予定日の前後2週間3日（日又は時間）	○	
男性職員の育児参加のための休暇（有給）	当該出産に係る子又は小学校就学の始期に達するまでの子を養育する男性職員に与えられる休暇	分べん予定日の前後8週間5日（日又は時間）	○	

(3)産後（休暇、休業）

産後休暇（有給）	出産した女子職員に与えられる休暇	出産の翌日から8週間		○
----------	------------------	------------	--	---

(産後休暇後)

育児休業（無給）	3歳未満の子を養育する職員に認められる休業	子が3歳に達する日まで	○	○
----------	-----------------------	-------------	---	---

(4)勤務しながら育児する場合（休暇、休業）

育児時間（有給）	生後満1年6月に達しない子を養育する職員が授乳等を行う場合に与えられる休暇	子が1歳6月に達するまで1日2回それぞれ45分以内	○	○
部分休業（無給）	3歳未満の子を養育する職員に認められる部分休業	子が3歳に達する日まで1日2時間以内	○	○

(5)看護する場合（休暇（対象：中学校就学前の子））

子の看護休暇（有給）	中学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員が、その子を看護する必要がある場合に与えられる休暇	年5日（日又は時間）	○	○
------------	--	------------	---	---

2 勤務形態等による支援（対象：小学校就学前の子又は中学校就学前の子）

早出遅出勤務	中学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員または配偶者、父母、子等を介護する職員に、1日の勤務時間を変更することなく、始業・終業時刻を変更して勤務させる制度	職員が請求する期間	○	○
深夜勤務制限	小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員または配偶者、父母、子等を介護する職員の深夜勤務を制限	6月以内の請求する期間	○	○
超過勤務制限	小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員または配偶者、父母、子等を介護する職員の超過勤務を月24時間以内かつ年150時間以内に制限	1年以内の請求する期間	○	○